

2018年2月23日に The 9th Joint Symposium of Veterinary Research in East Asia が、韓国のソウル大学で開催された。本学会は、東アジアでの獣医学教育の発展を目的として、学生交流を兼ねて執り行われている。基礎系から応用系にかけて様々な演題があり、普段接することが少ない分野の発表を聞ける数少ない機会でもある。このような貴重な国際学会に参加させていただき、深く感謝すると共に、本学会への参加について報告する。

本学会では、「2-Cys peroxiredoxin has an important role in blood feeding and reproduction through the regulation of hydrogen peroxide concentrations in the hard tick *Haemaphysalis longicornis*」という表題で口頭発表を行った。本発表では、細胞内過酸化水素に特異的な蛍光プローブを用い、さらに組織透明化技術を組み合わせることで、マダニ体内での過酸化水素発生の可視化の試みについて発表を行った。まだ、国内学会でも未発表の内容を盛り込んだため、英語による口頭発表にやや苦戦してしまっていたが、無事に発表を終えることができた。

本学会は、大学院1年目に国立台湾大学で開催された第6回目に参加したことがあり、学会自体への参加は2回目であった。このため、自身の英語による口頭発表の改善度をみる良い機会でもあった。結果として、もっと英語の勉強並びに発表練習が必要だと強く感じた。これに加えて、国際学会への参加を積極的にして、英語による発表に慣れることが必要だと思った。このため、自身はあまり実行できなかったが、大学院生は、国際学会へ進んで参加し、英語によるコミュニケーション能力を高めることが、一番の英語に慣れる良い方法だと思った。

今回の学会では、少しの間ではあるが、ソウルの名所を巡ることもできた。このような異文化に触れられる機会も本学会ならではの長所だと思う。本学会が、長く続いていくことを願う。



発表風景



崇礼門